

東京学連剣友連合会 稽古会に参加して

二宮 恭子

今回、初めて東京学連剣友連合会の稽古会に参加させていただきました。多くの諸先輩方に稽古・ご指導をしていただき、御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの影響に伴い、稽古や大会が制限され、出稽古をする機会も減る中、このような稽古会を開催していただき、とても感謝しています。

稽古内容は年齢別・自由稽古で構成され、普段お会いすることができない先輩方と剣を交えることができました。また、先輩方の稽古を見取り稽古もでき大変勉強になりました。特に、年齢別稽古では女性の方は年齢フリーとして行われ、世代を超えた活気のある充実した稽古となりました。初めて稽古をいただいた先輩ばかりでとても貴重な時間となりました。今後の自分自身の稽古に生かしていきたいと思います。

この稽古会を通して、改めて剣道は老若男女問わず、生涯ずっと続けられるものだと思いますし、日々の稽古の積み重ねの大切さを強く感じました。さらにコロナ渦において、世の中は人と人との会話が制限されている状況にありますが、剣道は相手と構え合い、竹刀を通したやりとり、駆け引きを愉しむことができます。今回の稽古会を通して、竹刀の会話(人と人とのつながり)が深められたと思います。